

防災訓練の反省点を踏まえた各班長等からの災害対策マニュアル改訂提案一覧

NO.	分類	該当箇所	改訂案提出 班・エリア	各班長等からの改訂提案内容			事務局対応
				現在の内容	改訂案	理由	
1	マニュアル	(緊急時の体制及び任務) 1 病院本部 (2) 他数か所	事務局	病院本部の設置場所は、災害レベル1及び災害レベル2の場合は第2・第3会議室とする。ただし、大津波警報発令時は北棟講堂とする。災害レベル3の場合は、北棟総合受付前に設置する。本部の配置は資料5のとおりとする。	病院本部の設置場所は、エネルギーセンター2階災害対策本部室とする。本部の配置は資料5のとおりとする。	エネルギーセンターに災害対策本部室ができたため	マニュアルを改訂
2	マニュアル	(緊急時の体制及び任務) 2 緊急時の連絡体制	災害対策本部 情報通信班	緊急時における連絡はトランシーバーを用いることとする。ただし、通話する相手にのみ伝わればよい内容であり、かつ固定電話およびPHSが使用できる場合は、固定電話およびPHSを用いることとする。	緊急時における連絡はトランシーバーを用いることとする。ただし、通話する相手にのみ伝わればよい内容であり、かつ固定電話、スマートフォンおよびPHSが使用できる場合は、固定電話、スマートフォンおよびPHSを用いることとする。	スマートフォンが導入されたため	マニュアルを改訂
3	マニュアル	(発災時の初動体制) 1 (5)	災害対策本部 情報通信班	情報通信班長は、班員、及び周りの職員に指示し、通信機器等を総合受付前に運搬する。	(削除)	災害対策本部をエネルギーセンターに設置するため	マニュアルを改訂
4	マニュアル	(発災時の初動体制) 1 (7)	災害対策本部 情報通信班	避難放送は医事課放送設備から情報通信班員が行う	避難放送はエネルギーセンター4階防災センターの放送設備から情報通信班員が行う	災害対策本部をエネルギーセンターに設置するため	マニュアルを改訂
5	マニュアル	(各班における任務の流れ)	事務局	マニュアルの中で、「災害診療編」と「津波浸水編」に分かれており、内容が重複している箇所がある。	「災害診療編」と「津波浸水編」を左右に並べる。	重複した箇所を2回読む手間を省くため。	マニュアルを改訂
6	マニュアル	(各班における任務の流れ) 1 病院本部 (9)	災害対策本部 情報通信班	トリアージカラー黒の患者数を見た上で情報通信班に遺体搬送依頼を行う	トリアージカラー黒の患者数を見た上で情報通信班に(情報通信班は病院局本部や市災害対策本部に相談し)遺体搬送依頼を行う	情報通信班が遺体搬送しないため	マニュアルを改訂

NO.	分類	該当箇所	改訂案提出 班・エリア	各班長等からの改訂提案内容			事務局対応
				現在の内容	改訂案	理由	
7	マニュアル	(各班における任務の流れ) 3 外来班 (20) 他数か所	外来班 トリアージ赤	調達班の指示で外来班が物品 調達	調達班のうち1名の指示で物品調 達。 大きく貼り出し、皆でチェック。	調達班4名おられたのですが、こ れまでのNsの意識としては調達班 は物品を持って来てもらうという意 識だったのですが、「私達は物が あるかチェックするだけです」と言 われた。4名中1名は責任者として チェックするとして、他の方たちは 自ら動いてもらうと助かると思いま した。来年は赤エリアに必要な物 品を大きく貼り出し、皆でチェック できればよいと思いました。調達 班とNsの意識の違いを感じまし た。	議題 案) 災害診療準備命令後の各エ リアの準備は、エリア責任者の 指示により、外来班員及び調 達班員が行う。 災害診療開始命令後の物品 調達は、調達班員が行う。
			外来班 トリアージ黄	調達班の指示で外来班が物品 調達	調達班のうち1名の指示で物品調 達。 大きく貼り出し、皆でチェック。	調達班の指示役が3人もいて、私 たちは指示するだけと言われた。 調達班もエリアごとに設置し、エ リア専門の人がほしい。黄色エ リアの調達と分かるよう色別にしてほ しい。	
			外来班 トリアージ緑	調達班の指示で外来班が物品 調達	調達班の人員不要	調達班の人は指示するだけだった ので、物品一覧リストがあれば人 員は不要だと思った。	
8	マニュアル	(各班における任務の流れ) 3 外来班 (29)-5	外来班 トリアージ黒	—	死亡確認をした後、死亡診断書 をいつ、誰が作成するのか。	マニュアルに死亡診断書作成につ いての記載がない。	マニュアルを改訂 (トリアージ黒で)死亡診断書 を行った医師は、死亡診断書(ま たは死体検案書)を記載する
9	マニュアル	(各班における任務の流れ) 5 施設整備班 (4) 他1か所	施設整備班	本部からの津波発生状況による 避難命令があるまで以下の 項目に係る施設、設備の稼働 状況の確認を行うものとする。 ア ライフラインに係る設備、機 器 イ 各検査(臨床検査、放射線) に係る設備、機器 ウ 救命救急に係る設備、機器 エ 発災による施設の被害状況 及び来院者の避難状況	本部からの津波発生状況による 避難命令があるまで以下の項目 に係る施設、設備の稼働状況の 確認を行うものとする。 ア ライフラインに係る設備、機器 イ 各検査(臨床検査、放射線) に係る設備、機器 ウ 救命救急に係る設備、機器 エ 情報インフラに係る設備、機器 オ 発災による施設の被害状況及 び来院者の避難状況	病院情報システム、インターネット 等情報インフラの記述がない。	マニュアルを改訂
10	マニュアル	(各班における任務の流れ) 6 記録班 (4) 他1か所	記録班	班員は、以下の内容を記録する ものとする。 ア 災害に関する情報 イ 施設の被害状況 ウ 施設の復旧情報 エ 本部長や各班班長からの指 示・報告情報 オ その他記録が必要な情報	班員は、以下の内容を記録するも のとする。 ア 災害に関する情報 イ 施設の被害状況 ウ 施設の復旧情報 エ 本部長や各班班長からの指 示・報告情報 ※本部長への連絡事項を記録す るため、病院本部担当のうち1名 は、本部長付とする。 オ その他記録が必要な情報	訓練中に本部長から指示あり。	マニュアルを改訂

NO.	分類	該当箇所	改訂案提出 班・エリア	各班長等からの改訂提案内容			事務局対応
				現在の内容	改訂案	理由	
11	マニュアル	(各班における任務の流れ) 6 記録班 (5) 他1か所	記録班	班員は、以下の内容を電子化し保存する。 ア 本部、入院班、外来班のクロノロジー イ 「現状分析と課題」	班員は、以下の内容を電子化し保存する。 ア 本部、入院班、外来班のクロノロジー イ 「現状分析と課題」 ※記載したクロノロは、各班のホワイトボードに掲示する。ホワイトボード以上の枚数になったものは、電子化したのち〇日分を〇へ掲示する。	DMAT隊員に確認したところ、石川県での発災時は3日分ぐらいのクロノロを流れがわかるように別の場所に並べて掲示していたとのこと。	議題 案) 電子化した過去のクロノロを災害対策本部外の廊下へ掲示する。
12	マニュアル	(各班における任務の流れ) 7 調達班 (8) 他数か所	調達班	臨時調剤所	薬品払出所	1Fの薬局が使用できない場合、災害時外来患者用の「臨時薬局」と入院患者用の「臨時調剤所」に分かれているが名称が似通っているため。	議題 案) 「臨時薬局」の名称を「外来薬局」に、「臨時調剤所」の名称を「入院薬局」に変更
13	マニュアル	(各班における任務の流れ) 8 DMAT (1) 他1か所	災害対策本部 情報通信班	従事場所: 4階リハビリテーション室	従事場所: エネルギーセンター2階DMAT室	エネルギーセンターにDMAT室ができたため	マニュアルを改訂
14	マニュアル	(各班における任務の流れ) 8 DMAT (4)	災害対策本部 情報通信班	他病院DMATの参集に備えて活動拠点本部の設営を行う	他病院DMATの参集に備えて活動拠点本部(会議室?)の設営を行う	エネルギーセンターにDMAT待機所ができたため	マニュアルを改訂
15	マニュアル	(ローテーション勤務)	災害対策本部 情報通信班	—	各所属でローテーション勤務表(資料25)を作成し、本部に提出すること。	給与面で誰がいつ勤務したか把握する必要があるため	マニュアルを改訂
16	マニュアル	設備一覧	事務局	資料②のとおり	資料②のとおり	エネルギーセンター建設に伴う変更	マニュアルを改訂
17	マニュアル	設備一覧 2 電気設備	災害対策本部 情報通信班	電気室 地下1階	電気室 エネルギーセンター4階	電気室をエネルギーセンターに移動したため	マニュアルを改訂
18	マニュアル	設備一覧 3 通信設備 他1か所	災害対策本部 情報通信班	院内情報ネットワーク…各種サーバー(1階情報管理室)	院内情報ネットワーク…各種サーバー(エネルギーセンター2階情報管理室)	情報管理室をエネルギーセンターに移動したため	マニュアルを改訂
19	資料4(外来班組織図)	—	外来班 トリアージ黄	組織図が小さい。	黄色エリアは広いので大きいのがほしい。	見えにくい。	大判印刷しておきます
20	資料5(本部レイアウト図)	—	記録班	資料②のとおり	資料②のとおり	今回の訓練では、図と違い入院班の位置に記録班の机があり、入院班は記録班と外来班に繋がるように机が設置されていた。入院班・外来班ともスペースが少なく外来班長は、記録班の電子入力者のスペースに入ってくるなど導線が混在していたため。	議題 案) 本部レイアウトを変更

NO.	分類	該当箇所	改訂案提出 班・エリア	各班長等からの改訂提案内容			事務局対応
				現在の内容	改訂案	理由	
21	資料7-1(トリアージエリア図)	死体安置場所について	外来班 トリアージ黒	—	死体が複数体運ばれ、トリアージ黒が一杯になった場合どこに安置するか。	マニュアルに死体の安置場所に関する記載がない。	議題 案) 死体安置場所は本館2階南口とする。
22	資料11(医師振分け表)	—	事務局	資料②のとおり	資料②のとおり	使用しづらいとの声をいただいたため。	議題 案) 医師振分け表を変更
23	資料14(放送原稿)	—	外来班 トリアージポスト	資料②のとおり	資料②のとおり	平日の設定だったため、災害診療のため駐車場の車を移動してもらうような放送が必要になる。	資料14の改訂
24	資料17(クロノフォーマット)	—	記録班	—	資料②のとおり	クロノロの記載方法を誰が配置されても記載できるようマニュアルに入れてはどうか。	資料17に追加
25	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「災害対策本部」のリスト	災害対策本部 情報通信班	資料②のとおり	資料②のとおり	エネルギーセンターに災害対策本部室ができたことに伴う整理	資料20の改訂
26	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ赤」のリスト	外来班 トリアージ赤	長机、椅子を講堂から搬送	不要	内科受付を利用するため	資料20の改訂
27	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ赤」のリスト	外来班 トリアージ赤	感染ペール用ダンボール、感染ペール、ペール用ゴミ袋、医療用廃棄BOXを立体駐車場から搬送	中央処置室にあるため不要	ただ、患者数が多く各ベッド毎に必要であれば今のままのマニュアルでよい。	念のため、立体駐車場屋上倉庫に保管しておきますので、必要になれば搬送してください。
28	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ赤」のリスト	外来班 トリアージ赤	—	移動できるエコーが欲しい。	重症患者に必要	トリアージ赤エリア(中央処置室)にエコーを配備しております。
29	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ赤」のリスト	外来班 トリアージ赤	—	移動式酸素ボンベと吸引器、酸素ホルダー(フック)が現在、旧6西にあるが、2階に置場があれば…	エレベーターが止まった時のことを考えると…	空調機械室25で保管をお願いします。
30	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ黄」のリスト	外来班 トリアージ黄	—	黄色エリアのベッド名札を大きく印刷してシーラーしBOXに入れてほしい。	すぐに使用できるようにしたい。	ラミネートしてBOXに入れておきます。

NO.	分類	該当箇所	改訂案提出班・エリア	各班長等からの改訂提案内容			事務局対応
				現在の内容	改訂案	理由	
31	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ黄」のリスト	外来班 トリアージ黄	—	検査用スピッツ、バットがない。 酸素の鍵はどこ？	防災センターに鍵を取りに行ったら、本部にすべてあった。鍵は絶対いるので、調達リストの中に入れてほしい。(黄色エリアで使う鍵をまとめてもらっておくと尚よい)検査用スピッツ、バットも調達リストへ入れてほしい。	鍵の場所は、マニュアルに記載のとおり、津波避難時は本部、それ以外は防災センターとしています。 診療材料については、まず各外来に保管しているものを使用し、在庫が少なくなればSPDセンターから補充する流れになります。
32	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ黄」のリスト	外来班 トリアージ黄	O2流量計・吸引器の保管場所: 脳神経外科外来	O2流量計・吸引器の保管場所: 外科外来	脳神経外科のものは備え付けのもので移動できない。	資料20の改訂
33	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ黒」のリスト	外来班 トリアージ黒	遺体収納袋の保管場所:10階 防災備蓄倉庫1	遺体収納袋の保管場所: 立体駐車場屋上防災倉庫	遺体収納袋以外のトリアージ黒で使用する物品は、ほぼ立体駐車場の屋上防災倉庫が保管場所になっている。トリアージ黒から遠い10階に遺体収納袋だけ取りに行くのは効率が悪く保管場所も分りにくい。	資料20の改訂
34	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ緑」のリスト	外来班 トリアージ緑	—	ストレッチャー(1台)、緑エリアに追加	黄・赤エリアへの搬送ができない。 (意識障害の患者など)	資料20の改訂 (整形外科のストレッチャー追加)
35	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ緑」のリスト	外来班 トリアージ緑	—	処置カート(皮膚科)を追加	外傷の処置ができない。	資料20の改訂
36	資料20(災害診療物品一覧)	搬送先が「トリアージ緑」のリスト	外来班 トリアージ緑	創交換・処置用品セット(看護部)の保管場所:皮膚科外来、 眼科外来	創交換・処置用品セット(看護部)の保管場所: 耳鼻いんこう科外来	元々皮膚科、眼科にはセットがない。	資料20の改訂
37	様式15(EMIS入力)	—	災害対策本部 情報通信班	資料②のとおり	資料②のとおり	現状のとおり変更	様式15の改訂
38	様式25(透析室チェックリスト) 様式26(MEセンターチェックリスト)	—	施設整備班	資料②のとおり	資料②のとおり	実働に沿った内容にするため。誰にでも記入できるようにするため。点検者の身の安全を確保するため。もっと解りやすくするため。	様式25、26の改訂
39	様式30(食養科チェックリスト)	—	調達班	資料②のとおり	資料②のとおり	9/14の災害訓練で使用してみて、より使いやすい内容に修正する必要性を感じた。	様式30の改訂
40	その他	災害対策本部のホワイトボードにマグネットの配置について	記録班	—	災害対策本部の各ホワイトボードにマグネットの配置	今回の訓練で各班に配布された共有情報の紙やクロノ用紙の下部をホワイトボードに養生テープ等で固定していた。各ホワイトボードに10個程度のマグネットを配置しておけば、スムーズに固定が行える。	マグネットを配置します。
41	その他	災害対策本部への時計の設置について	記録班	—	災害対策本部に時計の設置	災害対策本部内に各方面から見える位置へ時計を設置することで、本部に届く情報や発信した情報を統一した時間で共有や素早い記録ができる。	時計を設置します。

NO.	分類	該当箇所	改訂案提出 班・エリア	各班長等からの改訂提案内容			事務局対応
				現在の内容	改訂案	理由	
42	その他	ゲンタシン軟膏の処方について	外来班 トリアージ緑	—	緊急約束処方に、「ゲンタシン軟膏」を処方できるようにしてほしい。	外傷患者に処方できる外用剤がない。	「ゲンタシン軟膏」は災害備蓄医薬品になっており、災害時に処方可能です。
43	その他	無線APについて	施設整備班	—	立体駐車場に無線APを追加	現在のトリアージポスト、トリアージ緑、臨時薬局のレイアウトだと駐車場エレベータシャフト屋上に設置する無線APから特に臨時薬局までの距離、テント設置の関係から電波強度が弱く、通信が途切れることがあるため、屋上駐車場内に無線APを追加する必要がある。	議題 案)無線AP追加(費用約33万円)
44	その他	詳細マニュアルについて	外来班 トリアージ黄	—	各エリアの詳しいマニュアルもマニュアルに追加してはどうか。黄色エリアは独自で作成している。	—	詳細マニュアルについては、各班マニュアルに掲載していないため、電子カルテ端末の災害時ショートカットに保管していただきたいと思います。
45	その他	トリアージ区分について	外来班 トリアージ黄	資料②のとおり	マニュアルには各エリアについて明記されているが、実際のエリアで使用できるように一目見て分かる表や明文化したものがほしい。	現場ではいちいちマニュアルを開いている時間はないので。 リーダーDrからの要望 例： 気道熱傷のない熱傷→黄色エリア 気道熱傷のある熱傷→赤エリア 輸血が必要な患者→赤エリア 等	トリアージ表を各エリアのBOXに入れておきます。